

坂和総合法律事務所

# 事務所だより

第3号 2004（平成16）年盛夏号



6月10～13日の中国・桂林旅行での一コマ  
坂和弁護士の迫力にトラも降参(?)

編集・発行：坂和総合法律事務所

〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目4番6号

西天満コートビル3階

TEL 06(6364)5871 FAX 06(6364)5820

E-mail s-sakawa@sakawa-lawoffice.gr.jp

<http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp>

ホームページに動画のページができました。是非、ご覧下さい。



## 暑中お見舞い申し上げます。

今年は、台風と梅雨を同時に体験した後、暑い夏を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。注目の参議院議員選挙が7月11日に実施され、「自民敗退、民主躍進」の結果が示されました。年金問題やイラクでの多国籍軍参加問題が大きく影響したと言われていますが、これによって3年余続いてきた小泉政権・小泉改革の流れが、今後、「政局」の有無も含めてどのように展開していくのが注目されます。

都市問題を中心として弁護士としての社会的発言を続けている私の問題意識の中では、2004年の今、「戦後59年の日本のあり方」が大きなテーマです。安保・年金・景気のみならず、憲法改正の議論も含めた本音の真剣な議論の必要性を痛感しています。他方、法科大学院の発足、裁判員法の成立（5年後に実施）など司法改革は「順調」に進み、弁護士を取りま

く情勢も激変していますが、その真価が問われるのはこれからです。

こんな中、私は元気に「オレ流」を貫きながら、①本来の弁護士業務、②都市問題を中心とした出版・講演・講義活動、③映画鑑賞と映画評論の執筆、④フィットネス通い、そして近時増えてきた⑤中国「研修」旅行を中心として、充実した毎日を過ごしています。今年の夏もまた、これらの報告を含めた事務所だよりを皆様にお届けできることをうれしく思っています。皆様も一時手を休めてこれを読んでいただき、事務所の様子を楽しく思い浮かべながら、お元気で暑い夏を乗り切ってください。

2004（平成16）年盛夏

坂和総合法律事務所

所長 弁護士 坂和章平

## 事務所の近況報告（嶋津）

### (1) ホームページ動画開始

すでにご覧いただいた方もいらっしゃると思いますが、事務所の動画のホームページが1年間の期間限定で完成しました。事務所や本の紹介など、坂和弁護士の「雄姿」をお楽しみ下さい。事務所のホームページから動画のページをご覧ください。感想を待っています。

### (2) H16年度天神祭懇親パーティー中止

(中止は今年限定ですよ！)

平成13年以降、毎年7月25日に当事務所で開催してきた天神祭懇親パーティーですが、今年は7月25日が日曜日にあたるため開催すべきかどうか悩んだ末、日曜日にわざわざ事務所に来ていただくのは難しいだろうと判断し、今年は「開催せず」、来年7月25日(月)に「盛大に」行うことに決定しました。「楽しみにしていたのに！」という声を聞き、多少後悔の気持もありますが、その分来年は今まで以上に楽しいパーティーにします。数多くの皆様の参加をお待ちしています。

### (3) 溝端司法書士退職

平成15年3月、坂和事務所に入所した溝端啓実司法書士は真面目に黙々と仕事をこなしてきましたが、体調を崩し(決して坂和弁護士がはじめたわけではありません)、平成16年4月末日をもって退職しました。なお、登記業務は当事務所と業務提携している市田利夫司法書士事務所との協力体制が整っており、従前どおり当事務所で対応可能ですので、ご安心下さい。

### (4) 阪大生事務所見学

坂和弁護士は大阪大学の法律相談部と親しい関係があるため、阪大生との交流は昔からありましたが、ここ数年、法律相談部の皆さんが毎年事務所見学にきています。見学といっても坂和弁護士のことだから、ただ事務所の仕事を見せるだけではありません。2階の会議室で食事をとりながら、自己紹介にはじまり、なぜ法律相談部に入ったのか、将来の進路希望は、など熱く語ることを求められ

(?)、さらに坂和弁護士からこれからの若者への期待など、熱い思いを聞かされることになります。しかしそこは阪大生。坂和に負けじと熱心に語ってくれるので、有意義な時間を過ごすことができます。将来、めでたく弁護士になったあかつきには是非、坂和事務所に就職して下さいネ。お待ちしております。

### (5) 事務局スタッフ紹介と近況

事務局長の嶋津、経理・総務を担当する細谷、永田の古いメンバーは坂和弁護士とバトルをしたり、一般事務局をしかったり(いじめたり?)しながら、あいかわらずの毎日を過ごしています。一般事務局も最近は安定しており、機嫌よく働いている(?)ように見えますが、皆様の目からはいかがでしょうか。平成16年7月1日現在、一般事務局は、次のとおりのメンバーです。皆様が事務所に来られた時には「ガンバレ!」と声をかけてやって下さい。

**横関絵理**(よこぜきえり) 要領よく仕事をこなしているように見えますが、本人によれば、それは過大評価で、その期待がプレッシャーとのこと。一般事務局の中で一番古いこともあり、坂和の雷が一番よく落ちますが、負けずに頑張っています。

**松下香織**(まつしたかおり) 入所した頃は「大丈夫かな?」という感じでしたが、大器晩成タイプ(?)でゆっくりですが、成長しています。苦手な電話取りも少しずつ上手になってきました。たどたどしい電話の対応でも、頑張ってますので、大目にみてやって下さい。

**長川由香**(おさがわゆか) 3人の中では一番新しいのですが、もう何年も前から働いているような貫禄です。テキパキ・要領よく動いています。坂和の本の販売管理担当をし、毎日「どうすれば売れるか」を考えています。是非売上にご協力下さい。

**金子友次朗**(かねこゆうじろう) 黒一点(というのかどうかわかりませんが)、事件の担当をしている金子は新婚ホヤホヤで、家族のためにますます仕事に精を出すとともに、司法書士試験合格に向けて勉強も頑張っています。

## 坂和弁護士の近況報告（坂和）

- (1) 事件関係では、「景観利益」を真正面から争点とした宝塚市武庫川でのマンション建築差止仮処分事件が目下の焦点。景観法の成立を受けて、『景観法の解説』を執筆しながら、東京での国立（くにたち）マンション事件の関西版（？）とすべく奮闘中！温かく見守って下さい。
- (2) 今年4～7月は毎月1回、近畿大学法学部での「都市政策と法」の特別講義（計12コマ）。そして8、9月は4回にわたって関西学院大学法科大学院での「都市法」の集中講義（計15コマ）。このように土曜日を丸一日つぶしてしまう授業のオンパレードは、そりゃ大変。そのうえ、東京の（社）日本経営協会主催によるNOMA行政管理講座での講演（6/25）や大阪市立大学大学院ワークショップで

の講演（7/2）などの飛び込み（？）依頼も。

- (3) そんな合間をぬって、杭州旅行や桂林旅行を楽しみ、さらには『シネマルームⅢ』『いま、法曹界はおもしろい！』『実況中継PARTⅢ』を完成させました。
- (4) また、6/19～7/30の間、シネ・ヌーヴォで開催されたのが、中国映画計48本を一挙に上映する「中国映画の全貌2004」。20本以上観ればフリーパス券（2万円）がお買い得とあって、これを購入した私は、約30本を観ることに。オールナイトや4本連続という土日も続出！そしてもちろん、観た映画は必ずその翌日、映画評論の執筆も。さすがに疲れた開催期間中でしたが、いずれその成果はまとめたうえ・・・？

## 新人弁護士 吉岡寛子 奮闘記（吉岡）

- (1) 昨年10月の入所当時は、坂和先生からいいことも悪いこと（？）もいろいろと学ぶ毎日が新鮮で刺激的でハードでありながら楽しかったものですが、もうすぐ1年を迎えようとする今、「坂和事務所は（いろいろな意味で）大変やで」との事務所や坂和先生についての噂の意味がわかってきました（？）。最近は「コノヤロー！」と思うこともしばしば。私はこんなことを書くつもりなのに、事務局長が私の原稿を勝手に・・・。
- (2) 嫌味ではなく本当に、坂和先生は仕事大好きで、真面目で、優秀だ、そして新人弁護士を上手にこき使う（事務局長、私の原稿を勝手にさわるのはやめて下さい！）ということを痛感しています。「オレについてこい！」と坂和先生から手をひっぱられ、「手がちぎれる～」と叫びつつ、頑張っている毎日です。レディなの

ですから、もう少し優しく手をひいてもいいんじゃないかと思うのですが・・・。先日は、疾走する坂和先生の自転車の後を必死でついていこうと猛スピードで自転車を走らせたところ派手に転倒。本当に足を擦りむいてしまいました・・・。

- (3) しかし元来、おおらかな典型的O型人間の私は坂和弁護士から受けるストレス（？）にもめげず、同期の弁護士とおいしいものを食べに行ったり、朝出勤前に自宅の周りを散歩したり、奈良の葛城支部や神戸地裁など少し遠方の裁判所に行った時のプチ遠足を楽しんだりして、うまくONとOFFを切り替えています。
- (4) 暑い夏にも負けず、これからも奮闘しますので、やさしく見守って下さい。

何事も修行と  
思ってます。



## 坂和章平、中国に行く（旅行記）（坂和）

### 第1 杭州旅行（3月31日～4月3日）

- 1、日本航空杭州線直行便就航第1便による、はじめての父娘旅行。「西湖」で有名な浙江省の省都杭州は、マルコポーロが「世界で最も美しく華やかな街」と絶賛した街。靈隠寺や六和塔の市内観光と遊覧船に乗っての美しい西湖散策は、至福の時。沈むゆく夕陽と美しい西湖の絶妙なバランスを狙った芸術写真をトクとご鑑賞あれ！



<写真家 坂和章平の誕生？>

- 2、12～13世紀の南宋時代の都として栄えた杭州を「再現」したのが宋城。宝塚大劇場とよく似た宋城でのレビュー『宋城千古情』は面白く楽しいもの。レビュー終了後の女優さんとの記念写真もバッチリ！
- 3、足をのびしたのは紹興。ここは紹興酒の本場だが、中国近代文学の創始者、魯迅が生まれ学んだ場所として有名。タツプリと紹興酒を飲みながらも、勉強することはしっかりと。  
1960年から3年ごしで準備されてきた大作、『魯迅伝・上』が幻の映画となったのは、1966年に始まった文化大革命の前触れとして上海から広がった極左的文芸方針によるもの。映画評論家坂和が『中国映画の明星』（石子順著・平凡社）から学んだ知識は、旅行でも大いに役に立つもの・・・。
- 4、もう1つは、水郷のまち烏鎮（ウーチン）。これは、まち全体をテーマパークとしたもの

で、古い街並み散策や8人乗りの小舟でのゆったりとした水郷めぐりを心ゆくまで満喫。  
5、食べ物もおいしく、父娘の触れ合いも上々。十二分に楽しむことができた杭州旅行でした。

\* \* \* \* \*

### 第2 桂林旅行（6月10日～13日）

- 1、中国の20元紙幣の絵柄となっている、水墨画のような美しい風景の桂林の漓江（リキ）は、あこがれの的。そんな漓江下りを中心とした、広州、深せんを含むすごくハッピーな3泊4日の旅に、さあ出発！

<美しく広がる漓江兩岸の風景>



- 2、香港のすぐ北側にある深せんは、鄧小平が定めた中国の経済特区として大発展を遂げたが、24年前は人口3万人の寒村。特区内に入るについてバスのチェックを受けたのはビックリ。深せんの「中国民俗文化村」には、少数民族村の他、楽しい1/10縮尺のミニチャイナがある。万里の長城に取り囲まれた（？）中、故宮（紫禁城）（北京）や兵馬俑（西安）の跪射武士俑の前に座った写真は、オツなもの・・・。そして西湖（杭州）も一時間圏（？）で見学だ！
- 3、桂林の市内観光は、①畳彩山②七星公園③象鼻山の3つ。さすが、「観光で食っている」

まち桂林だと感心。また、オプション参加した漓江のナイトクルーズで見る、ライトアップされた夜のまちの美しさは圧巻！桂林旅行のハイライトは、近畿日本ツーリストの専用船による、早朝からの漓江下りだが、途中下船した冠岩幽洞での鍾乳洞のデカさと美しさにビックリ。その中を小舟に乗って移動する姿は、あの『オペラ座の怪人』のイメージそのもの！そして注目は、20元紙幣の裏側に印刷された漓江の兩岸に広がる美しい景色。バイキング料理とビールの酔いもあって、昼すぎからはウトウトのツアー客続出だったが・・・。

<象鼻山の水月洞>



4

さく)にある高田郷。ちょっと立ち寄り写真撮影しただけが、その息を飲むような美しさに感動！さらに、桂林市内の夜の散策では、2人のアーティスト(?)による、似顔絵描きとTシャツプリントの面白い体験を…。ちょっと若すぎるかもしれないが、そのハンサムさは実物そっくり・・・？ ↗



5 -

5、最後は広州での西漢南越王墓の見学。南越は、秦の始皇帝から派遣された武王を初代の王とする国。その2代目文王のお墓が1983年に発見されたコレ。歴史のお勉強を終え、帰りの飛行機では、例によってたっぷりのワインとビール。その酔いが少し覚めたところで見えた、窓の下に広がる四国・淡路島の景色と沈んでいく真っ赤な夕陽の美しさ。こんなはじめての体験もすることができた、何ともハッピーな旅でした。

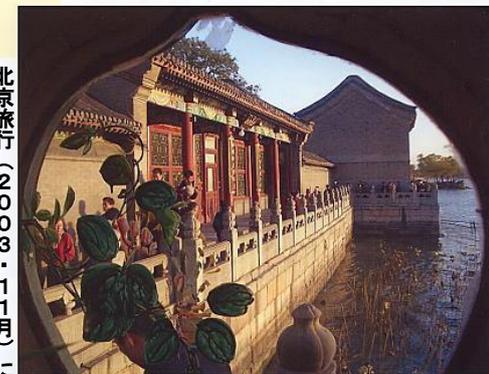
<深センの「中国民俗文化村」

兵馬俑（西安）の跪射武士俑の前にて>



\* \* \* \* \*

「写真家」坂和章平に向けて三足目のわらじ？  
大阪弁護士会会報219号(2004年3月30日発行)  
会員写真作品展にも出品した自信作です。



北京旅行(2003・11月)にて  
頤和園の美しい昆明湖

「頤和園~私を夢中にさせた景色」 坂和章平



西安・敦煌旅行(2001・8月)にて  
感動！鳴沙山での日の出

「鳴沙山(メイサザン)の日の出」 坂和章平

映画評論家  
『SHOW-HEY』の部屋（坂和）

- (1) 映画評論家としての坂和弁護士の活動は広がるばかり。第1は『パートⅢ』の出版だが、この本に注目してくれたのが東京の出版社の文芸社。調整の結果、既に『パートⅣ』の11月出版が確定。これは全国300の書店に並ぶため、ひょっとしたらベストセラーになるかも・・・？また、この中に入りきれない分と7月以降に観た映画そして中国映画特集は、別途『パートⅤ』として出版することになるかも・・・？
- (2) さらに昨年のラジオ大阪『はやり唄一番星』（11/18）とAM神戸『おとなの普段着』（12/30）へのラジオ出演に続いて、MBSラジオの『ありがとう浜村淳です』へのゲスト出演が4/7。これは、最近めっきり増えてきたお昼の試写室通

いの中で、声を交わすことが多くなってきたことによるもの。「お声がかかればどこへでも！」のスタンスで、これからもお呼びを待ってます・・・。

- (3) 毎月1回の産経新聞大阪府下版の「That'sなにわのエンタメ」は引き続き好評連載中。スポット的(?)に注文を受けたのは、裁判員制度の議論の中で注目を集めた、アメリカの陪審コンサルタントを主人公とした『ニューオーリンズ・トライアル』についての映画評論の執筆(2/13付朝日新聞)。こんな楽しいお仕事は何本でもやりたいものです！

坂和弁護士と事務局は意外に仲良し？  
・たまには感謝の気持を表現してみようということでサプライズ誕生会をしました。



今年の55歳の誕生日にやさしい事務員たちが部屋履きをプレゼントしてくれました。しあわせいっぱい？の坂和弁護士でした・・・。



フィットネスだより（坂和）

ゴルフが減り、マイカーを売り飛ばし、その結果さらにゴルフが減った。それと反比例して増えたのが日曜、祝日の朝一番からのフィットネス通い。南海サウスタワーホテルから変身したスイスホテル南海大阪のフィットネスクラブは、昨年12月に大改装され、ランニングマシーン1台毎にテレビがついた。そのためテレビ画面を見ながら走ることができるようになった。ただ黙々と走り続けるのはしんどいもの。そこで従来私は、テレビのついたステップ（階段登り）を中心として運動し、ランニングの際は、MDやカセットテープによる新曲吸収によって、走ることに飽きないように努めてきた。しかし走りながらテレビを見ることができるようになる

と・・・朝は9時からのNHKの党首討論や4、8チャンネルを、そして10時からは『サンデープロジェクト』『サンデー・ジャポン』そして『NHK杯トーナメント』を切り換えながらのランニング。これらを楽しみかつ勉強しながら正午まで走ると、2時間～2時間半走り続けることに。そうすると走行距離は、1回10kmを最低限とし、15～20kmが標準に・・・。ホントは、2、3日毎に10kmを走る方が身体にはいいと思うのだが、なかなか思うようには・・・。しかし、このおかげ(?)で今年の健康診断も無事パスできたし、中国旅行では走り回ることはいつも断トツの1番に・・・。暑い夏場も一層頑張らなくっちゃ・・・。

## 事務局長のひとりごと（嶋津）



梅雨入り宣言をした途端、真夏のような天気が続く、私はすでに夏バテ気味ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

坂和事務所、恒例(?)の坂和と嶋津、坂和と一般事務局、嶋津と一般事務局のバトルに加え、最近では坂和VS吉岡の小難しい法律論争も時々みられ、事務所の外も中も暑い毎日(?)です。さらに、事務所の温度をあげているのが、7月7日の七夕にロマンチックな入籍をした事務局の金子友次朗!暑くてイライラする私

の横で、一家の長として愛する妻のため、仕事に精を出す金子に、ひがんで(?)「はたらけ～!でも勉強もして早く司法書士にならないとネ」と声をかけるのが私のひそかな楽しみ(?)となっています。皆様も事務所に来られた時は、「勉強してるか?」とプレッシャーをかけてやって下さい・・・などと憎まれ口をたたきながら、事務所の平和を願う、けなげな(?)事務局長のひとりごとでした。

## 〔坂和総合法律事務所 業務時間ならびに周辺地図〕



### \*\*\*業務時間\*\*\*

平日 午前9時～午後6時  
土曜日 午前9時～午後3時  
業務時間外の相談を御希望の方はお申し出下さい。

相談にこられる際は日時の予約をしていただき、関係資料を一式持参して下さい。

また相談内容のメモを事前にfaxもしくはメールにていただければ幸いです。

### 坂和総合法律事務所フロア案内

- 3階 坂和総合法律事務所
- 201 坂和事務所会議室
- 401 オーナーズフロア

1階玄関はオートロックですので、当事務所にお越しの方は「301呼出」を押して下さい。

地下鉄谷町線・堺筋線「南森町」徒歩5分  
地下鉄堺筋線「北浜」徒歩6分  
地下鉄御堂筋線・京阪「淀屋橋」徒歩10分  
JR東西線「大阪天満宮」徒歩6分

### 坂和章平の自宅案内

〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目8番4-1201号  
朝日プラザ西天満  
電話 06(6312)1789 FAX 06(6312)1788

### 吉岡寛子の自宅案内

〒530-0047 大阪市北区西天満5丁目13番1号  
メゾンペルソナ701号室  
電話 06(6363)1315

出版物紹介

ご注文は坂和総合法律事務所までFAX (06-6364-5820) もしくはメール (office@sakawa-lawoffice.gr.jp)にてお願いします。送料は実費をご負担いただきますのでご了承下さい。お支払は郵便振替用紙を同封します。



『実況中継 まぢづくりの法と政策PART III  
—都市再生とまぢづくり』(日本評論社)  
定価2900円(税別)

実況中継シリーズの第三弾！  
2003年12月5～8日の4日間、愛媛大学法文学部で実施した「都市法政策」の集中講義の実況中継です。今回の特徴は、映画評論家としても忙しい(?)坂和弁護士らしく、映画をもとに、歴史・戦争・人生・恋愛その他各種の現実の問題を考えるための視点を学生諸君に提示することに力を注いだことです。

新聞ネタも利用しデフレ経済の脱出とあるべき金融政策の模索等、最新のわが国の問題も真剣に取りあげています。もちろん一層深刻化する「破綻する都市再開発」そして小泉改革と小泉都市再生についてはもとより、六本木ヒルズのオープンなどの新たな情勢を分析し、「都市法政策」について、「坂和流」の切り口・語り口で熱く講義しています。

一冊で何度も「へえ～」「なるほど！」となること受け合いです。

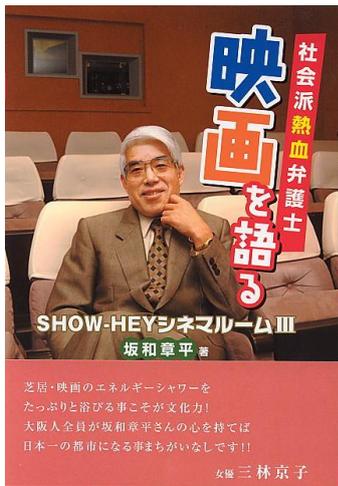
\* \* \* \* \*



『いま、法曹界がおもしろい!』(民事法研究会)  
坂和総合法律事務所編 定価1600円(税別)

弁護士生活30年の坂和弁護士を中心とし、昨年10月に入所した新人、吉岡弁護士と事務職員歴18年の事務局長嶋津の2人を共同執筆者に加え、司法修習や実際の裁判の様子、法科大学院の実情等をわかりやすく解説するとともに、司法試験の合格体験や法律事務所の日常業務や経営術、そして個性豊かな弁護士の実態などをユニークな切り口から分析し、紹介したものです。

法曹界を目指す方々や法曹界に興味がある方々はもちろん、特に興味のない方でも通勤・通学時の「読み物」として、手軽に楽しんでいただけるものと自負しています。是非皆様にもお読みいただき、法律事務所や弁護士を身近に感じていただきたいと思います。



『社会派熱血弁護士、映画を語る  
SHOW-HEYシネマルームⅢ』(オール関西)  
定価1800円(税込)

またまた出ました。弁護士坂和章平の映画評論本の第三弾！！  
最近では映画評論家ぶりも板につき(?)、週に2、3回(?)は試写室に通い、評論の執筆に励んでいます。産経新聞の「That's なにわのエンタメ」には月1回、映画評論が掲載されるようになり、「弁護士」と「映画評論家」の「二足のわらじ」をはく日は間近かも・・・。

そして11月には文芸社から「パートⅣ」(タイトルは未定)の出版が決定し、すでに「パートⅤ」用の原稿もかなりの数がたまっていきます。

映画を観た後に読むもよし、観に行く暇がなく忙しい方はこの本で観た気分になるのもよし、とにかく楽しめかつ勉強になることまちがいないです。

さらに、映画館の入場料1800円でこれだけたくさんの映画についての情報が得られる大変お得な一冊です。

是非ご購入下さい。